

# ハートケア 通信

2009年 3月号

発行：平成21年3月1日 NO. 66  
 ハートケアグループ 〒583-0021  
 大阪府藤井寺市御府町1-63  
 藤井寺オフィスビル  
 編集：ハートケア通信編集委員  
 TEL 072-931-2355  
 FAX 072-931-2720  
<http://www.medi-care.co.jp/>



S様手作りの  
お座布団です

ヘルパー24 羽曳野 を ご利用の **S様**



## 今の特集 介護報酬の改定



ハートケアグループ since 1988

**大**阪ホームケアサービス

**メ**ディケア・リハビリ

**青**蓮荘

**N**PO法人ケア・ユニゾン

◆ご利用者総数 1972名 (以下、内訳)

- ・ケアプラン事業 848名・レンタル事業 422名
- ・訪問介護事業 (支援費50名含む) 419名
- ・通所介護事業 422名 ・訪問入浴事業 5名
- ・有料老人ホーム 101名 ・たに整骨院 120名
- ・訪問看護事業 884名
- ・その他 リハビリ委託事業など  
(平成21年2月1日現在)
- ・住宅改修事業 6件 (平成21年1月施工)

◆ 414名のスタッフが皆様の在宅生活をサポートいたします。(平成21年2月1日現在)

# 介護報酬の改定

舛添厚生労働大臣から平成21年度介護報酬改定案が諮問されました。諮問書では、

(1) 介護従事者の人材確保・処遇改善  
医療との連携や

(2) 効率的なサービスの提供  
や新たなサービスの検証

(3) 改定の基本的考え方とされています。まだ確定されたわけではありませんが、大臣から提出された案ということで、皆様も関心の高いところとされています。本稿では、サービスを利用する皆様の側にとつてどのような影響が出るのかを、各サービスについて簡単に見ていくことにします。

まず、今回の改定案は、介護従事者の人材確保・処遇改善、また介護従事者の経験や技術面を重視した事業所への評価が考慮されており、その分、利用者側の負担が僅かながら増える内容になっています。利用者側から見れば、多少の負担増となりますが、今後、より優れた介護サービスの提供を受けられることを目指した改定になっています。

具体的に見ますと、介護費用の単位数を金額に換算するための地域加算が、改定の結果、

在宅サービスでは通所介護がわずかに安くなるのに対し、訪問介護、訪問入浴、訪問看護、短期入所ではわずかに高くなります。



また、サービス種別では、訪問介護の30分未満の身体介護と60分未満の生活援助については、約1割の値上げになります。また、初回時にサービス提供責任者がきめ細かなサービスを行う場合の加算と、緊急時にヘルパーが訪問した場合の加算などが新設されました。

訪問看護、訪問入浴、短期入所では、事業所によって上級資格者を配置したり、経験豊かな職員を配置したりする場合は、評価等により利用料が少し上がるの見込みです。通所介護では、事業所の規模により異なりますが、料金がほとんど変わらないか、または僅かに下がるところがあるかもしれません。

福祉用具貸与では、今回の改定による変更はありません。介護福祉士資格の保有者、常勤職員、一定程度の勤続年数者の割合により介護報酬を割り増しする加算が設けられる見込みとなり、働く人にとっていい事業所の報酬が上がる仕組

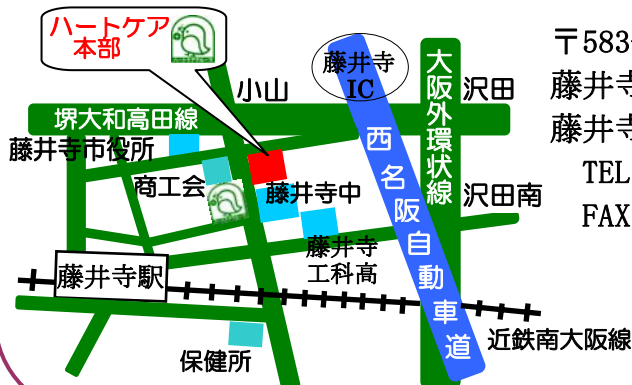
みにしようとしているようです。在宅サービスの利用上限である区分支給限度額は従来通りで変更はありません。弊社は、利用者にとつて、より良い、質の高いサービスの提供をめざし努力いたしておりますが、今回の改定により利用料がごくわずかですが、高くなる方も居られると存じます。何卒よろしくご理解とご了承をお願い申し上げます。

## 重要なお知らせ ～口座振替をご利用の皆様～

弊社の口座振替集金代行業務を行っている「(株) セントラルファイナンス」が4月1日より「(株) セディナ」へ社名変更される事に伴い、通帳摘要欄の表記が「CF000」⇒「000セディナ」と変更されます。

## ハートケアグループ本部移転のお知らせ

本部が3月1日から藤井寺に移転します。



〒583-0021  
藤井寺市御舟町1-63  
藤井寺オフィスビル  
TEL 072-931-2355  
FAX 072-931-2720



「快適をご利用者に「ご家族に」をモットーに皆様に喜んでいただける事業所をめざす当社としましては、よりよいサービスの提供に努めてまいります。利用料改定の詳しい内容についてはサービス事業所またはケアマネジャーにお尋ねください。

(平成21年2月12日)  
在宅ケアシステム総合研究所  
辻岡勝志



## 便利な福祉用具



今回紹介させて頂くのは、  
車椅子付属品の「足が安定するフットガード」です。

下肢の機能が低下してくると、車椅子に乗っていても足が安定しなくて、フットレストから足がずれ落ちてしまいます。御本人はもちろん、介護されている方も結構、困っているのではないのでしょうか。

これを使っただくことで、フットレストの上に足が収まるようになります。

使い方は簡単、フットレストに挟んでベルトで止めるだけ、カバーは合わせ式になっていますので、靴を履いたままでもOKのゆったりサイズ、色は、黒・茶・グレーの3種類、サイズはM・Lの2種類があります。

お値段は、一つ(片方)で3,360円(税込み)です。  
どうぞ、お気軽にお問い合わせください。



メディケア・リハビリレンタル事業所  
TEL 072-957-7150 担当：野口 高

## ご利用者インタビュー

(表紙写真)

今月は、ヘルパー24羽曳野をご利用されているS様(84歳)をご紹介します。S様は、自由契約の利用者様で、S様のデイサービスにヘルパーが同行しています。

S様は、昭和58年に脳梗塞になり右上下肢麻痺と言語障害が残りしました。介護者である義妹様(82歳)と二人暮らしですが、お二人とも介護保険を利用しながら、ご近所の酒屋さんの奥様を頼りにされています。S様のお家にはその酒屋さんに繋がるブザーがあり、それを押すとすぐに飛んできてくださるそうです。月一回美容院に連れて行ってあげるんですが、車椅子への介助が楽になってきてるんですよ。踏ん張る力がついてきたのかな。井口さんが来てくれるようになって表情も良くなつたしね。」と酒屋さんの奥様も喜んでくださっています。

「以前は、家政婦さんにずっと来てもらっていて、デイにも付き添ってもらっていたんです。その家政婦さんが来られなくなり困っていたところ、酒屋さんの奥様が「いい人がいるよ。」とヘルパー24羽曳野のヘルパーである井口さんを紹介してくれました。」と義妹様がきっかけを教えてくださいました。

井口ヘルパーはどんなことでもS様のご意向を伺い、ご自分で決めていただいで、そして少し援助してS様にやっていただけでということをお願いしてきました。その成果でしようか、できることがひとつ増えることによつて何事にも前向きになられ、ご自分の意思表示をされ、言葉数も増え、歩こうという気持ちも強くなつてきておられます。「今思えば、家政婦さんは、何でもSさんの代わりに至れり尽くせりやってくれすぎていたのかもしれない

ません。以前は、言葉もなく首を上下か左右に振るだけだったのに、だんだん単語が増えてきてね。話しかけることは大切ですね。」と酒屋さんの奥様はおっしゃっていました。「しやべるより歌のほうの方が声は出やすいようで、デイのカラオケではマイクも持って歌いはるんですよ。」と井口ヘルパー。また、「デイと訪問リハビリで、歩行訓練も意欲的にこなされ、筋肉も付いてきて杖歩行ができるようになってこられたんですよ。」とも言っていました。

デイでは、リハビリ以外に手芸もされ、指編みで座布団を作り車椅子に敷いておられました。(表紙写真右)その綺麗な配色は、ご自分で選んで決められたそうです。義妹様も手芸好きで、デイで押し絵やちぎりえなど色々作るのが楽しめそうです。また、「皆さんのおかげでこうして二人で暮らせています。」と感謝されていました。

援助というのは、やりすぎてもいけないし、足りなくてもいけない。うまくうながすことによつて意思決定もされるようになり、意欲も持っていただけ。『自立支援』というヘルパーの仕事の大切さを実感しました。利用者様にとつて必要なことは何かを考え、コミュニケーションを大切に接する。そのことによつて信頼感が生まれる。利用者様の状態も良くなる。というよい循環ですね。

S様が、義妹様や酒屋さんの奥様や井口ヘルパーに向けて笑顔はとてもステキでした。とても良い関係なのが見えてよくわかりました。

ハートケア通信編集部  
インタビューアー  
上田美津子





### ケアホームだより



先日、ケアホームで鍋パーティーをしました。割烹着を着ていただき、日本手ぬぐいを頭に巻いた姿は、まさに『お母さん』。目の前で用意するところから参加して頂き、自分達で作ったものを召し上がって頂きました。

取り組みを始めてまず驚いたのは、潜在的な生活力の高さです。調理バサミで野菜などを切ってお盆の上に並べたり、手のひらの上でお豆腐を切ったり、少しのお手伝いでいろいろなこ



とができることを改めて実感しました。特に102歳のNさんも負けずに参加していました。何もしないで、じっとテレビを見ている時の表情とは違い、いきいきとした場面が見られました。最初は野菜が嫌い、豚肉が嫌いと言っていた利用者様もいざ食べ始めると、何回も「おかわり」と言われ召し上がっており、微笑ましい光景でした。

『今年の羽曳が丘の取り組みは、レクリエーションを積極的に行い、利用者様、職員に、楽しみのある生活を送っていただくこと』

必然的に、職員の負担は増えていきますが、利用者様が職員と一緒に楽しめる環境をつくるため、利用者様に少しでも協力して頂き、役割をもって参加して頂くように、メニューを増やしていきたいと思っています。



ケアホーム羽曳が丘 甲斐 道代

### 編集後記

ハートケア通信のご感想・ご意見等を担当ケアマネジャーや当事業所スタッフにお伝えください。俳句・短歌・水墨画等の投稿も歓迎いたします。

ハートケア通信編集部

TEL:072-931-2355 FAX:072-931-2720

### ハートケアグループ 相談受付

土・日・祝日・年末年始 (9:00~17:00)

090-3676-7733

平日 (フリーダイヤル 9:00~18:00)

0120-812-182



### 良いリハビリとは？

皆さんはリハビリに対してどのようなイメージをお持ちでしょうか？

「身体が良くなる」「気持ちが良い」「安心」などのプラスのイメージでしょうか。

あるいは「しんどい」「痛い」などのマイナスのイメージでしょうか。

リハビリに対して抱くイメージは人それぞれですが、良いリハビリとは利用者様・ご家族様が納得して取り組むことができるリハビリだと私は思います。

ではどのようにすれば納得できるリハビリを行うことができるでしょうか？

その方法の一つは、利用者様・ご家族様とリハビリ担当者とのより良いコミュニケーションを取ることであります。

例えばリハビリ中に「痛いです」「しんどいです」と遠慮無く利用者様から伝えて頂くことができなければ（もちろんリハビリ担当者から確認する必要があることではありますが、中には無理をされる利用者様もいらっしゃいますので・・・）、オーバーワーク（使いすぎ）や痛みによりリハビリがかえって逆効果になる可能性もあります。

リハビリに関することはもちろんのこと、病気や怪我のこと、生活のこと、不安、心配などリハビリ担当者に遠慮無く話してみてください。利用者様・ご家族様に関わる医者・看護師・ケアマネジャー・ヘルパーなどと連携し「三人寄れば文殊の知恵」で気になっていた「あの問題」が解決するかもわかりませんよ！



メディケア・リハビリ  
訪問看護ステーション

理学療法士

前田 賢二郎

